

平成 14 年度臨時（第 2 回）理事会議事録

日 時 平成 14 年 10 月 19 日（土） 10：30～18：00

場 所 岸記念体育会館 401 会議室

出席理事（敬称略、順不同）：

山崎達光（委任：戸田邦司）、井手正敬（委任：戸田邦司）、小田切満寿雄、戸田邦司、松本富士也、小田泰義、栗田栄一郎、高橋順一（委任：秋山雄治）、岩田直幸、栗原博、斉藤威、清水昭、鈴木保夫、富田稔、戸張房子、名取正精、浪川宏、平賀威、広瀬興郎、松田健次郎、三井祥功（委任：浪川宏）、倭千鶴子、市原恭夫、福田義一、昇隆夫、都築勝利（委任：小田泰義）、水谷益彦、中山明、岩田行史（委任：戸田邦司）、柴田、西原敏文、古谷正宏（委任：昇隆夫）、秋山雄治

以上 33 名、内委任状 7 名

欠席監事：石崎忠朗、青淵隆督

以上 2 名

オブザーバー：末木創造レース委員長

議事の経過及び結果

（定足数の確認）

理事 33 名、出席者 33 名（内委任状 7 名）により、寄附行為第 29 条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立。

（議長による開会宣言）

山崎達光会長が病氣療養中のため、寄附行為第 19 条に基づいて戸田邦司副会長が議長となり、平成 14 年度臨時（第 2 回）理事会の開会を宣言。

（議事録署名人）

本理事会の議事録署名人としては、議長指名により中山明、市原恭夫の両理事が任命された。

（小田切副会長挨拶）

議事について、スムーズな進行にご協力をいただきたいとのお挨拶があった。

< 議案事項 >

（4）JSAF レースオフィサー規定改正について

末木レース委員長から資料に基づき、レースオフィサー制度の新設についての提案」がなされた。これに対して、松本副会長から、「現在の JSAF 資格制度は、ジャッジ、計測員、指導者など多岐に亘っており、各種資格の条件、有効期限などの内容について整合を図る必要があるのではないか」との提言があり、議論の結果、「今後、各種制度との整合を図りながら、外洋制度についての補充を含めて修正する」ことで承認された。

(1) 会長候補者推薦委員会について

議案に入る前に、戸田副会長より、山崎達光現会長の病気療養中の経過説明ならびに平成 15 年度からの会長職継続についての意思を確認したので、会長候補者推薦委員会の開催は必要がないのではないか、との説明があった。

岩田理事他多数の理事から、理事選考方法については、平成 14 年 9 月臨時評議員会を経過している以上、手続き上問題があるとの発言があった。

採決の結果、会長候補者推薦委員会を設置する事に決し、同委員に小田専務理事、栗田常務理事、高橋常務理事、富田総務担当理事、秋山普及担当理事、松田競技担当理事、並びに鈴木会計担当理事の 7 名が選出され、別途会議を開催して会長候補者を推薦する事となった。

小田専務理事より、委員会で審議の結果、山崎達光現会長を次期会長に推挙する事になった旨報告され、理事会で承認された。

富田理事より資料に基づき、「平成 15 年度理事選出細目(案)」について説明があった。12 項目について、項目ごとに内容を精査、理事選出スケジュールについても決定された。公示は平成 14 年 12 月 5 日の会報誌「J-SAILING」にて掲載、立候補締切りは 12 月 20 日とした。選挙管理委員会委員に、末木創造氏、鈴木明善氏、横山勝重氏の 3 名が候補者として推薦され、評議員へは会報誌「J-SAILING」を通じて公示することになった。

(2) JSAF 寄付行為の改正について

水谷理事より資料に基づき、寄付行為改正についての説明があった。寄付行為第 2 条の 2 項につき、9 事務所の従たる事務所が定められているが、統合時の合意事項や実態としての JSAF 事務所とは考えがたく削除するべきとの旨、発言があった。

戸田副会長より、寄付行為作成については統合時に監督官庁(当時の運輸省)の指導で作成したものであり、従たる事務所については、JSAF 固定資産の通信設備(郵政省海岸局無線基地局)として登録されている住所である。許認可取消しなどに関連があり、平成 15 年度以降の検討事項となった。

(3) JSAF 諸規定の改正について

水谷理事より資料に基づき、JSAF 諸規定改正についての説明があった。現行諸規程集は平成 13 年 4 月に制定され、10 項目からなっている。「決裁規程」「職員旅費規程」「費用弁済に関する規程(案)」「文書取扱規定(案)」「契約規程(案)」「専決規定(案)」「経理規程の改正部分 新旧対照表」「経理事務規則の改正部分 新旧対照表」「連盟印章規程の改正部分 新旧対照表」「事務局処務規程の改正部分 新旧対照表」について、内容の矛盾、誤字脱字、文章の考え方の相違点など、未整備部分の見なおしについて提案があった。

市原理事より「経理規程の改正部分 新旧対照表」については再検討する必要がある

ある旨の発言があった他、その他の改正案の内容は厳格で重苦しく、JSAF の組織規模、事務局人員数の実態を見極め、運営の円滑化と処理能力の停滞を起こさない様見極めながら改正すべきとの意見が複数の理事よりあった。

平成 15 年度改訂運用に向け、提案者の意向を汲んで総務委員会で修正し提案する。

(5) 全日本学生外洋帆走連盟の特別加盟団体加盟申請について

(6) 日本 29er 級協会の特別加盟団体加盟申請について

(7) 日本 Melges24 クラス協会の特別加盟団体加盟申請について

平賀理事より資料に基づき、上記 3 団体について「特別加盟団体登録申請承認のお伺い」について説明があった。

「日本 Melges24 クラス協会」については承認。

「日本 29er 級協会」については、会則・決算書類を整えることで承認された。

「全日本学生外洋帆走連盟」については、名称を含む全日本学生ヨット連盟との整合性、大学内認知と位置付け、責任体制強化の為に OB 等一般役員の参加が承認の追加事項として求める事とし、今回の加盟申請は否決見送りとなった。

(8) 評議員の変更について

武村事務局長より資料に基づき、2 名の評議員変更申請（高田尚之氏・関東ブロック新任・外洋三崎、久芳志治氏・九州ブロック変更・外洋玄海）があった旨、説明があった。水谷理事より、届出の書式の統一性が必要との指摘があった。

理事一同、承認。

(9) 平成 14 年度大会共同主催・公認・後援願いについて

末木レース委員長より資料に基づき、10 大会について共同主催・公認・後援願いの申請提出があった旨、説明があった。

理事一同、承認。

< 協議事項 >

(1) 全日本学連要望書に関する件

秋山理事（学連担当）より、平成 14 年度 4 月 30 日付けで全日本学生ヨット連盟からメンバー登録受付業務を認定していただく等の要望書につき、秋山理事から回答が提出された。

中山理事から JSAF としていずれの団体登録でも組織への加入時には構成員名簿と会費納入は不可分の事項であり、一部の登録（特別加盟団としての全日本学連からではなく、水域学連から加入する行為）で正規加入を認可するのは JSAF 組織運営上、禍根が残るのではないかと指摘があった。

正式に、秋山原文を全日本学生ヨット連盟会長杉山様へ回答文書を発行することになった。

(2) 平成 15 年度日本財団助成事業募集(案)について

秋山普及担当理事より資料に基づき説明があった。平成 15 年度日本財団助成事業申請につき、平成 14 年度事業内容とほとんど変更はしていない。総事業費合計は 14,668,000 円とした。申請締切りは平成 14 年度 10 月末日となっている。

浪川安全通信副委員長より、新規事業として「外洋帆走安全教育」が提案されたが「安全指導者講習会」事業との整合性を図り、調整することになった。今後の課題として新規事業申請の処置についても検討することが必要との意見があった。

< 報告事項 >

17) ISAF2002 年次総会について

広瀬国際委員長より、ISAF 年次総会 2002 の 9 名出席について、旅費交通費補正を申請したいとの旨、報告があった。次回理事会の審議事項として、改めて国際委員会より補正予算申請を提出することになった。

その他) 毎日スポーツ賞の選考について

オリンピック委員会へ一任することになった。

その他報告事項については、定刻を過ぎたため各理事で熟読していただきたい旨、小田切議長より発言があった。以下は、報告事項の簡単な内容を議事録署名人の指示より掲載することにする。

1) 平成 14 年度上半期会計報告について

2) 野口会計士中間監査について

3) 文部科学省・国土交通省監査について

平成 14 年 10 月 30 日に監督官庁による監査が行われる。

4) インターナショナル 14 世界選手権について

平成 15 年 8 月和歌山において開催。助成金申請依頼の検討が出ていた。

5) ISAF インターナショナルメジャラーの申請・規則について

富田総務担当理事からインターナショナルメジャラー申請規則について、JSAF 運営規則として細則も含め平成 15 年度までに発行する旨の報告が出ていた。

6) 海洋環境保全推進週間の実施について

海上保安庁警備救難課より平成 14 年 11 月 1 日～7 日まで実施のお願いが出ていた。

7) 平成 14 年度 9 月 30 日現在のメンバー登録状況

8) 加盟団体名称変更について

平成 14 年 4 月 20 日総会にて「岡山県ヨット連盟」から「岡山県セーリング連盟」への名称変更が出ていた。

9) 第 29 回オリンピック競技大会について

IOC プログラム委員会より現行競技・種別・種目に関する勧告が出ていた。

10)アクセスディンギー世界選手権について

11)全国普及安全会議について

平成 14 年 11 月 16・17 日に東京夢の島マリーナにて開催する案内が出ていた。

12)平成 14 年度「体力づくり強調月間」の実施について

文部科学省より協力と実施について依頼文が出ていた。

13)高知国体・静岡リハーサル国体の報告について

報告書が出ていた。

14)「日本一周フラッグリレーキャンペーン 2002」報告について

現状までの中間報告書が出ていた。

15)平成 14 年度通常（第 2 回）理事会議事録（案）

16)平成 14 年度臨時評議員会議事録（案）

18)その他

ナショナルチーム選考レース実施要項（案）

沖縄強化合宿&練習計画（案）

アテネプレプレオリンピック参加統括報告

2002 年 470 ワールドの報告について

C 級コーチ専門科目講習について

ルール委員会報告

平成 14 年度臨時（第 2 回）理事会議案は、上記の通り議決ならびに承認されたことを確認し、議事録署名人は以下に記名捺印する。

平成 14 年 10 月 22 日

議 長 副 会 長 戸 田 邦 司

議事録署名人 理 事 中 山 明

議事録署名人 理 事 市 原 恭 夫